

相馬報恩会オーストラリア留学に 遺愛の生徒が4名選出されました！！

2月11日（土）に、湯の川の「相馬報恩会哲心荘」で、市教委の山本真也教育長ら約40名の出席の中で、この夏オーストラリアに留学する函館市内の高校生10名の留学認証書授与式が行われました。

これは2006年から財団法人相馬報恩会（相馬謙吉理事長）の財政的な支援の下、相馬報恩会留学生奨学制度運営委員会および実行委員会が市内在住あるいは市内の高校に通う1年生を対象に選抜試験を行い、10名の生徒をオーストラリア留学させる制度です。篤志家が地元の高校生の外国留学の継続的支援をするのは、他の地域では例をみない素晴らしい制度です。

今年で7回目を迎えますが、これまでおよそ60名の函館の高校生が3ヶ月間のオーストラリア留学をしてきました。それぞれがとても充実した経験をしてきて、語学力はもちろんのこと人間的にも一回りも二回りも大きく成長してきています。高2の夏から秋にかけて3ヶ月も日本を離れて、進路の上で大丈夫なのかという危惧をもたれる向きもありますが、この留学を経験して東京大学や国公立医学部医学科への現役進学を実現している生徒もいます。もちろん時間的なハンデはでてきますが、逆に英語力のアップやこの経験が進路上、有利に働くこともあります。

遺愛から昨年と同様に4名の生徒が選出されました。7月9日～10月12日までの3ヶ月の留学期間をぜひ積極的に行動し、実りあるものとしてほしいですし、そして将来、函館に恩返しするような働きをしてほしいと願います。



相馬謙吉理事長から認証書を受け取りました。

2012年2月14日